中部経済新聞

2009年9月3日（木）

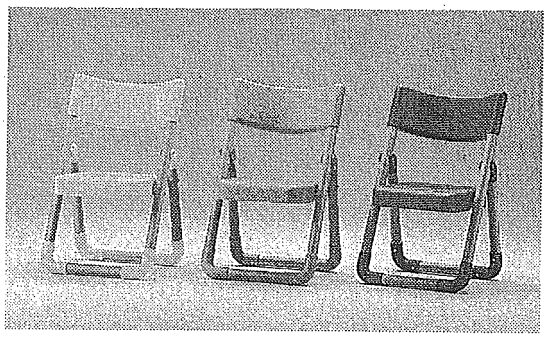
ポイント貯めて社会貢献

企業の環境意識向上

参加100社めざす

フルハシ総研「エコモチ」活動拡大

環境コンサルティングのフルハシ環境総合研究所（本社名古屋市中区金山１の12の14・金山総合ビル７階、舟橋康貴社長、電話０５２・３２４・５３５１）が推進する「エコモチ」の輪が広がっている。企業人の環境意識を高めると同時に、ＣＳＲ（企業の社会的責任）活動を実践するプロジェクト。昨年４月に参加企業100社・１万人の目標を掲げてスタートしたが、先月末の実績は60社１万9000人で、すでに人数目標は達成。今後は企業数の目標達成も目指し、広く参加を呼び掛けていく。（津田一孝）



エコモチ経由で売り上げの一部を寄付する三恵工業の「ＨＥＣＭＥＣ」

〝エコモチ〟は〝エコ・モチベーション〟の略語。具体的イメージを伴う形で、環境意識やＣＳＲ意識をどのように社員に植え付け、高めていくかとの悩みを抱える企業に応えるため考案。

環境に良い36項目の行動を決め、実践した社員に〝シード（種）〟という単位のポイントを与え、貯めたポイントをＮＰＯ・ＮＧＯ支援に役立てるという仕組み。環境意識とＣＳＲ意識を同時に高めようというのが特色だ。

社会貢献をしたくても、どのようなＮＰＯ・ＮＧＯ団体があるのか知識に乏しい企業も多いため、支援先は同社が12団体を選定。自主的取り組みをサポートするプロジェクトであるため、支援資金は参加企業がそれぞれに決める。

エコモチの輪を広げるため、売り上げの一部を支援資金として提供する試みにも着手。茶畑和也氏の「似顔絵ショップ」に続き、三恵工業（鈴鹿市）が製造・販売する環境にやさしい紙製折りたたみいす「ＨＥＣＭＥＣ」が対象商品に加わった。

スタート時と異なり、経済環境が悪化しているため、同社では社員の環境行動がCO_2やコストの削減にも役立っている点を強調し、活動の輪を広げていく計画。